

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	Ⅱ 市民の学び意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	5 健全な青少年を育成する	施策名	① 青少年の社会的自立の促進
------	------------------------	----------------	---------------	-----	----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率	
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み	H22 H24見通し	
◆青少年の社会参加を促進するため、子どもの体験活動の促進やジュニア未来議会の開催、青少年活動センターの運営に取り組んでいる。 ◆健全育成活動を推進するため、ふれあいのある家庭づくり事業や青少年の居場所づくり事業、青少年育成団体の活動支援に取り組んでいる。 ◆青少年の自立支援対策を推進するため、総合相談事業の実施や社会参加体験モデル事業に取り組んでいる。	◆総合計画の指標である若年者における非労働者の割合については、平成24年度に把握予定である。 ⇒昨今の社会経済情勢を勘案すると、目標達成は難しいものと考えられる。 ◆自立支援相談件数は、H20と比較して、約3倍に増加している。 ⇒今後も増加することが見込まれる。 ◆ジュニア未来議会の参加人数については、目標値に近いものとなっている。 ⇒おおむね、目標を達成することが見込まれる。 ◆社会体験活動事業における「充実した体験をした生徒の割合」についての達成度は90%を超えるものとなっている。 ⇒平成24年度においても、90%を超えると見込まれる。 ◆青少年活動センターにおける青少年対象事業については、開催回数も増え、参加数も増加の傾向にある。 ⇒平成24年度についても、同様の傾向であり、おおむね達成できるものと見込まれる。	-	若年者(15~34歳)における非労働者(家事・通学を除く)の割合	%	1.1						1.0	-
			自立支援相談延べ件数	件	-	150	400	650	700	750	106.1%	
						252	638	796	900	1,000	133.3%	
課題	◆社会経済環境や雇用が悪化する中で、若年無業者やひきこもりなど青少年の社会的自立に向けた支援策を充実していく必要がある。 ◆青少年が社会的自立に困難を抱えることのないよう、幼少期から青年期に至るまで、継続した支援を行っていく必要がある。											
			市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22				
				重要度		77.3	75.8	78.5				%
				満足度		24.3	26.1	27.9				%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
青少年の自立支援に関する総合相談事業	○	➡	「いじめ・不登校の延長」や「就職活動のつまづき」等多様な自立阻害要因を持つ青少年への適切な相談対応を実施していくため、所内での勉強会を積極的に実施し、相談員のスキルアップに努めているほか、相談機能の充実をさらに図るため相談対応マニュアルの作成に向け準備を進めている。 平成24年度末には、相談対応マニュアルを作成し、より効果的な相談支援を実施する体制を確立する見通し。	雇用状況の悪化などの要因も重なり、社会的な自立に困難を抱える青少年は今後も増加することが見込まれることから、青少年自立支援センター独自の広報紙「ふらっぶだより」などを活用し、相談窓口の周知を広く図ることで家庭に潜在化するニートやひきこもりの掘り起こしにつなげていくとともに、相談対応体制の強化を図っていく。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	青少年自立支援対策事業	おおむね35歳未満の青少年とその保護者	H19	就労に至った人数	人	5	10	15	20
				自立支援相談の延べ件数	件	8	6	6	
						150	400	650	700
						252	638	796	
2	ふれあいのある家庭づくり事業	子ども・親・地域・学校・企業等	S41	ふれあいのある家庭づくり作品コンクール応募数	件	500	500	800	900
						482	797	843	
3	宮っこフェスタ交付金	子ども・大人・地域・企業	H14	事業参加団体数(参加・協賛・協力)	件	150	150	150	150
						145	183	162	
4	宇都宮市青少年育成市民会議補助金	地域(宇都宮市青少年育成市民会議)	H12	市民会議の活動回数(会議回数・事業実施回数)	回	33	33	35	35
						33	24	19	
5	青少年活動センター事業費	35歳未満の青少年及びその保護者	H20	青少年対象事業の延開催回数	回	9	11	500	500
				勤労青少年対象事業の延開催回数	回	10	13	401	
						500	500	0	0
						397	450	0	
6	青少年育成推進費	青少年・青少年育成指導者	0	ジュニア未来議会の参加者数	人	50	50	50	50
				仲間づくり団体数	団体	48	49	50	
						17	17	17	17
						13	13	11	
				青少年育成指導者研修会開催回数	回	3	3	3	3
						3	2	2	
7	青少年活動センター整備費(単独)	青少年活動センターの利用者	H20	施設の改良整備	箇所	1	1	1	0
						2	2	1	
8	宇都宮市青少年団体連絡協議会補助金	青少年団体連絡協議会	S47	青少年の体験活動の実施回数	回	7	5	5	5
				情報交換会等の開催数	回	3	2	5	
						10	10	10	12
						9	13	13	
9	青少年育成河宇地区連絡協議会	青少年育成河宇地区連絡協議会	S43	会議及び研修会の開催数	回	8	8	8	8
						7	5	5	
再掲	青少年の居場所づくり事業	小学生・中学生・高校生	H15	地域における青少年の居場所の実施箇所数	箇所	25	35	39	39
						25	24	23	
再掲	社会体験学習推進事業	宇都宮市立中学校2年生の生徒全員	H14	充実した体験をした生徒の割合	%	100	100	100	100
						91	91	93	

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

施策主管課	子ども未来課	総合計画記載頁	141ページ
-------	--------	---------	--------

政策の柱	Ⅱ 市民の学び意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	5 健全な青少年を育成する	施策名	② 非行・問題行動の未然防止
------	------------------------	----------------	---------------	-----	----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率	
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み	H22 H24見通し	
◆非行・問題行動未然防止の環境づくりに向けて、環境点検活動や巡回指導、非行防止相談事業に取り組んでいる。 ◆青少年の規範意識の醸成に向けて、非行防止講演会の開催や薬物乱用防止運動に取り組んでいる。 ◆青少年の非行・問題行動の未然防止のため、地域における巡回指導活動や環境点検活動等を実施している。 ◆家庭における養育の向上に向けた親への意識啓発を図るため、一日巡回指導体験や非行防止講演会を実施している。	◆巡回指導による被指導者数については、目標値に近いものとなっている。今後も急激な変化はないものと予想される。 ⇒H24年度末の目標値の達成は可能と思われる。 ◆地域における延べ巡回指導活動実施回数はほぼ達成している。 ⇒H24年度末の目標値の達成は可能と思われる。	134.4%	巡回指導による被指導者数	人	/	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	134.4%	
			地域における延べ巡回指導活動実施回数	回	/	840	840	840	840	840	101.0%	
						840	824	853	848	840	840	100.0%
課題	◆非行・問題行動の未然防止に向けて、保護者や地域住民の理解と取組をより一層促進する必要がある。 ◆家庭における養育環境が低下している。		市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22				
			重要度		81.2	79.3	84.0			%		
			満足度		18.4	19.8	23.9			%		

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23
1	青少年非行防止対策事業	青少年 (20歳未満)	S39	延べ巡回指導活動参加人数	人	5,200	5,200	5,200	5,200
						4,936	4,737	4,552	
				非行相談件数	件	50	50	50	50
						43	91	133	

